

令和4年3月14日掲載

・土木工事標準仕様書（その3）における記載の追加

1 追加内容

新潟県土木工事標準仕様書（その3）

（別紙）

監督技術基準・施工管理関係資料のうち、生コンクリート標準配合表

- ・注釈 11 において、「設計表示名称のスランプ値と異なるスランプ値のコンクリート単価を計上する場合は、該当するスランプの単価値（当該の単価コード、物価資料の掲載単価、又は見積単価）を計上すること。」の記載を追加。

別紙 別表-1 生コンクリート標準配合表

(令和4年2月15日以降適用)

| 単価コード | 設計表示名称 | w/c | 仕様内訳(配合) | | | | | | 適用構造物 | 設計基準強度(σ _{ck}) N/mm ² | 普通ポルトランドセメントの場合の単価コード | |
|------------|---|-----------|----------------|--------------------|---------------------------------|------------------------------|--------------|----------------|----------------------------|---|-----------------------|------------------------------|
| | | | コンクリートの種類による記号 | 呼び強度 | スランプ又はスランブフロー (cm) | 粗骨材の最大寸法 (mm) | セメントの種類による記号 | 水セメント比 W/C (%) | | | | セメント量 C (kg/m ³) |
| T1631 | 18-8-25 (20) ^{注14} (高炉) | w/c ≤ 65% | 普通 | 18 | 8~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 65以下 | [共通] | 均しコンクリート | - | T1634 |
| T1632 | 18-8-40 (高炉) | w/c ≤ 65% | 普通 | 18 | 8~15 ^{注11} | 40 | BB | 65以下 | [共通][砂防] | 均しコンクリート、地すべり抑止鋼管杭中詰コンクリート | - | T1635 |
| TZJ2012001 | 18-8-25 (20) ^{注14} (高炉) | w/c ≤ 60% | 普通 | 18 | 8~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 60以下 | [共通][トンネル][河川・砂防][下水道] | 管渠の巻立コンクリート、基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、ブロック積(張)の胴込・裏込コンクリート、トンネル(インバート)笠コンクリート、下水道構造物(無筋) | 18 | TZJ2010001 |
| TZJ2012010 | 18-8-40 (高炉) | w/c ≤ 60% | 普通 | 18 | 8~15 ^{注11} | 40 | BB | 60以下 | [共通][道路][トンネル][河川・砂防][下水道] | 擁壁(無筋)、管渠の巻立コンクリート、基礎コンクリート、側溝、集水溝、埋戻しコンクリート、橋台(無筋)、橋脚(無筋)、トンネル(インバート)笠コンクリート、下水道構造物(無筋) | 18 | TZJ2010036 |
| TZJ2012008 | 18-5-40 (高炉) | w/c ≤ 60% | 普通 | 18 | 5~15 ^{注11} | 40 | BB | 60以下 | [河川・砂防] | 砂防コンクリート(護岸工を除く) | 18 | - |
| T1643 | 21-8-25 (20) ^{注14} (高炉) | w/c ≤ 60% | 普通 | 21 | 8~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 60以下 | [河川・砂防][海岸] | 河川構造物(無筋)、練石積(張)の胴込・裏込コンクリート、海岸構造物(無筋) | 21 | - |
| T1644 | 21-8-40 (高炉) | w/c ≤ 60% | 普通 | 21 | 8~15 ^{注11} | 40 | BB | 60以下 | [河川・砂防][海岸] | 河川構造物(無筋)、河川根固ブロック海岸構造物(無筋)、海岸消波根固ブロック(無筋) | 21 | - |
| TZJ2012002 | 21-8-25 (20) ^{注14} (高炉) | w/c ≤ 55% | 普通 | 21 | 8~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 55以下 | [河川・砂防] | 水密性・凍結融解抵抗性を要求する河川構造物(無筋) ^{注16} | 21 | TZJ2010009 |
| TZJ2012019 | 21-8-40 (高炉) | w/c ≤ 55% | 普通 | 21 | 8~15 ^{注11} | 40 | BB | 55以下 | [河川・砂防] | 水密性・凍結融解抵抗性を要求する河川構造物(無筋) ^{注16} | 21 | TZJ2010048 |
| TZJ2012005 | 24-12-25 (20) ^{注14} (高炉) | w/c ≤ 55% | 普通 | 24 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 55以下 | [共通][道路][河川・砂防][下水道] | 擁壁(鉄筋)、函渠、側溝蓋、集水溝蓋、胸壁(ハレット)、ケソン橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆河川構造物(鉄筋)、下水道構造物(鉄筋) | 24 | TZJ2010018 |
| T1642 | 24-12-40 (高炉) | w/c ≤ 55% | 普通 | 24 | 12~15 ^{注11} | 40 | BB | 55以下 | [共通][道路][河川・砂防][下水道] | 擁壁(鉄筋)、函渠、ケソン、深礎橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆河川構造物(鉄筋)、下水道構造物(鉄筋) | 24(21)は深礎 | TZJ2010059 |
| T1653 | 30-12-25 (20) ^{注14} (高炉) | w/c ≤ 50% | 普通 | 30 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 50以下 | [道路][海岸] | 【塩害対策用】 ^{注17} 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆擁壁(鉄筋)、函渠【塩害対策用】 ^{注17} 海岸構造物(鉄筋) | 30 | T1645 |
| T1654 | 30-12-40 (高炉) | w/c ≤ 50% | 普通 | 30 | 12~15 ^{注11} | 40 | BB | 50以下 | [道路][海岸] | 【塩害対策用】 ^{注17} 橋台(鉄筋)、橋脚(鉄筋)、地覆擁壁(鉄筋)、函渠【塩害対策用】 ^{注17} 海岸構造物(鉄筋) | 30 | - |
| T1650 | 30-12-25 (20) ^{注14} (高炉) | w/c ≤ 55% | 普通 | 30 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 55以下 | [道路] | 消雪パイプ埋戻 | 30 | TZJ2010029 |
| TZJ2012006 | (30)-15-25 (20) ^{注14} (高炉) C ≥ 350kg | w/c ≤ 55% | 普通 | (30) ^{注8} | 15~21 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | BB | 55以下 | [共通] | 場所打ち杭(ベントリハース、アースドリル等) | 24 | - |
| T1630 | (30)-15-40 (高炉) C ≥ 370kg | w/c ≤ 50% | 普通 | (30) ^{注8} | 15(18) ^{注11 注12} | 40[25(20)] ^{注14・15} | BB | 50以下 | [海岸] | 海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート) | - | - |
| TZJ2012040 | (18)-15-40 (高炉) C ≥ 270kg | w/c ≤ 60% | 普通 | (18) ^{注8} | 15(18) ^{注11 注12} | 40[25(20)] ^{注14・15} | BB | 60以下 | [トンネル] | トンネル(アーチ、側壁) | - | TZJ2010073 |
| TZJ2010018 | 24-12-25 (20) ^{注14} (普通) | w/c ≤ 55% | 普通 | 24 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | N | 55以下 | [道路] | PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、床版 ^{注7} 、RC中空床版 ^{注7} | 24 | - |
| T1656 | 30-12-25 (20) ^{注14} (早強) | w/c ≤ 55% | 普通 | 30 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | H | 55以下 | [道路] | PC桁(横組) | 30 | - |
| TZJ2010029 | 30-12-25 (20) ^{注14} (普通) | w/c ≤ 55% | 普通 | 30 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | N | 55以下 | [道路] | 合成床版 ^{注7} | 30 | - |
| T1652 | 30-12-25 (20) ^{注14} (普通) | w/c ≤ 50% | 普通 | 30 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | N | 50以下 | [道路] | 【塩害対策用】 ^{注17} PC橋・RC橋のスラブ桁の中詰、床版 ^{注7} 、RC中空床版 ^{注7} 、合成床版 ^{注7} | 30 | - |
| T1651 | 30-12-25 (20) ^{注14} (早強) | w/c ≤ 45% | 普通 | 30 | 12~18 ^{注11} | 25 (20) ^{注14} | H | 45以下 | [道路] | 【塩害対策用】 ^{注17} PC桁(横組) | 30 | - |
| T1657 | 40-12-25 (20) ^{注14} (早強) (JIS同等品) | w/c ≤ 55% | 普通 | 40 | 12~21(45~60) ^{注11 注13} | 25 (20) ^{注14} | H | 55以下 | [道路] | PC桁(T桁) ^{注7} 高性能AE減水剤等使用 | 40 | - |
| T1655 | 40-12-25 (20) ^{注14} (早強) (JIS同等品) | w/c ≤ 45% | 普通 | 40 | 12~21(45~60) ^{注11 注13} | 25 (20) ^{注14} | H | 45以下 | [道路] | 【塩害対策用】 ^{注17} PC桁(箱桁・中空床版) ^{注7} 高性能AE減水剤等使用 | 40 | - |
| TZJ2012027 | 曲げ4.5-2.5-40 (高炉) | w/c ≤ 45% | 舗装 | 曲げ4.5 | 2.5 | 40 | BB | 45以下 | [道路] | コンクリート舗装 | 曲げ4.5 | TZJ2010069 |
| TZJ2012029 | 曲げ4.5-6.5-40 (高炉) | w/c ≤ 45% | 舗装 | 曲げ4.5 | 6.5 | 40 | BB | 45以下 | [道路] | コンクリート舗装(簡易な舗設機械及び人力による舗設) | 曲げ4.5 | TZJ2010071 |

- 基本** 1.用途については標準的なものを示したもので、構造物の目的、現場・施工条件等を考慮して水セメント比、スランプ等の配合を決定する。
- セメント** 2.コンクリートの配合は、原則として構造物の設計基準強度または要求性能上必要な水セメント比のいずれか厳しい条件で選定する。
- 3.「セメントの種類による記号」とは次のとおりとする。【N:普通ポルトランドセメント、BB:高炉セメントB種、H:早強ポルトランドセメント】
- 4.セメントは、橋梁上部工に用いるコンクリートを除き、原則として高炉セメントB種を使用する。なお、海岸・砂防以外の用途では、確実なひび割れ対策が必要な場合、早期強度を必要とする場合や寒中コンクリートの場合等必要に応じて高炉セメントB種以外のセメントを使用出来る。
- 5.鋼橋のコンクリート床版では収縮に問題が無く、入念な養生を行うことで高炉セメントB種を使用することができる。
- 6.普通ポルトランドセメントを使用する場合は「セメントの種類による記号」欄のBBをNと読み替え、「普通ポルトランドセメント使用の場合の単価コード」欄の単価コードを使用する。
- 混和材(剤)** 7.床版、合成床版、PC床版等で膨張材を使用する場合など、特殊な混和材(剤)を使用する場合は、別途考慮する。
- 強度** 8.呼び強度は、早強ポルトランドセメント及び特殊な配合を使用する場合を除き材齢28日の供試体強度とし、圧縮強度試験は、JIS A 1108及びJIS A 1132、曲げ強度試験は、JIS A 1106及びJIS A 1132による。
- 9.呼び強度の()内は参考値である。
- 空気量** 10.空気量は4.5%を標準とする。
- スランプ** 11.コンクリートのスランプは「設計表示名称」欄の値を標準(鉄筋コンクリートのスランプは12cmを標準)とするが、「スランプ又はスランブフロー」欄に示す範囲で変えることができる。但し、スランプが12cmを超える場合は、平成29年9月27日付け技第408号「コンクリート工の生産性向上に係るガイドラインの運用について(通知)」に従うこと。
設計表示名称のスランプ値と異なるスランプ値のコンクリート単価を計上する場合は、該当するスランプの単価値(当該の単価コード、物価資料の掲載単価、又は見積単価)を計上すること。
- 12.トンネル(アーチ、側壁)、海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)で施工条件等により受発注間で協議を行い骨材最大寸法を25(20)mmとした場合、スランプを18cmとすることができる。
- 13.40-12-25(早強)について、施工条件等により受発注間で協議を行いスランプフロー45cm~60cmに変更することができる。
- 骨材** 14.粗骨材規格欄の25(20)は、25mm砂利か、20mm砕石のいずれかを使用する生コンであることを示す。
- 15.トンネル(アーチ、側壁)、海洋コンクリート(無筋)(水中コンクリート)は、施工条件等により受発注間で協議を行い骨材最大寸法を25(20)mmとすることができる。
- 耐久性** 16.水密性を要求する構造物は水槽・地下室等の構造物、凍結融解抵抗性を要求する構造物は連続してあるいはしばしば水で飽和される部材断面が20cm程度以下の構造物(地中の構造物を除く)とする。
- 17.塩害地域の橋梁等における耐久性に関する設計上の目標期間として100年を目安とする場合の水セメント比は、道路橋示方書・同解説Ⅲコンクリート橋・コンクリート部材編(平成29年11月、社団法人日本道路協会)P186表一解6.2.1に示す水セメント比以下とする。
- 条件明示** 18.注4、5、6、7、10、11、12、13、15、17で標準と異なる条件となる場合は、施工条件総括表に明示する。